

特255

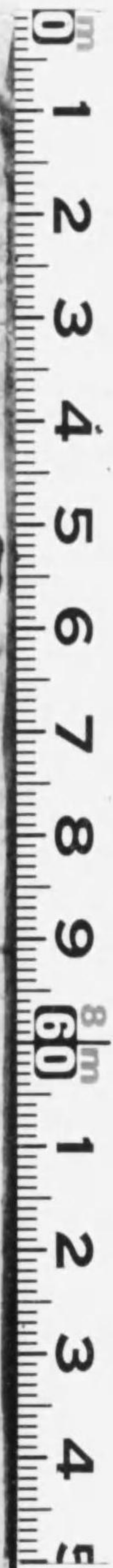
386

川豊彦氏講演

農村更生と産業組合

(代騰寫)

神奈川縣農村産業組合協會



始



特 255
386



例
言

本冊子は七月廿二日足柄下郡吉濱村小學校に於て本會地元産業組合及男女青年團主催の講演會に於ける賀川豊彦氏の講演を謄寫に代へ印刷に附し以て會員に配布せしめるものである

昭和十二年八月

神奈川縣農村産業組合協會



物産川瀬農林漁業聯合會



附言

農村更生と産業組合

賀川 豊彦氏講演

山村漁村の困難

本日は當吉濱村及びその隣接町村の諸君の御參集の際に、主として農村經濟更生につきまして、産業組合の立場より、いかにすれば更生し得るかを暫くの間お聴き願ひたいと存じます。また特にこの際當吉濱村の皆さんに感謝いたしたいと思ひますことは、私が現在やつて居ります東京の本所區の東駒形方面の子供達が、この夏吉濱村にお世話になることになつて居りますので、その感謝の意味を以つて伺つたのも、その一つの理由であります。

さて私は話を主として海岸に面した山の地區に、とくに經濟的施設をどうするかといふことをお話ししたいと思います。私は我國の村の内でも最も困つて居ります村は漁村と山村であります。お米が統制されました我國では最も安くても一石約二十四圓以下には下りません。本年度は御存じの通りお米が上りまして三十五圓以上にも今なつて居ります。これはほつとけば今頃は恐らく五十圓以上の値段であります。それで米を主として作つてゐる方々は困らないのであります。とこ

ろがこの吉濱村のやうな半分海岸であつて半分山であるといふやうな地方は經濟のとり方が非常にむづかしいのです。それは思ひ切つて漁業をおやりになればまた經濟の立て方がやさしいのですけれども、漁村にも行かず山村にもなりきれないといふ所が最も困難であります。また御當地のやうに別荘地域の比較的擴大されてゐる所に於ては、まことに申しにくいのですけれども、どうかすると都會じみた傾向が全村の諸君の心の中に喰ひこむものですからついでに漁業だけで頑張らうといふ氣持が薄らぐのであります。私は今日さういふ條件の下にいかにしたならば經濟的更生をなし得るかといふことを申し上げたいと思ひます。私はこの吉濱村のことはあまり詳しく存じませんが、先程一寸伺つたところによりますと、この村では山が非常に廣く遊んでゐる、蜜柑を作つてある所は僅か二百町歩であつて、約一千町歩の山が原野として遊んでゐる、その内官行造林として既に植付けたところもあることを承りましたが、この廣い一千町歩の土地を處分するといふことが最も大切であります。ではかういふ山をどうすれば利用出来るかといふことについて、一寸御参考までに申し上げます。

立体農業の必要

先づ我國では千九百萬町歩の山がございます。田畑は僅かに六百二十萬町歩であります。然るに

日本の方々は山といふものゝ利用法を全く知らない、山といふものは薪或は木材のみを取る所と思つてゐる、これが貧乏する最大原因です。木材も七十年に一回とか百年に一回とか伐るのであれば山村を經營してつても利益はあまり無いのであります。若しこれが栗、くるみ、椎、栃、かや、さう言つた所謂顯花植物を山に植付けますれば相當に經營は持つんです。皆その果實は食へます。蜜柑は勿論非常に金目であります、かうした物の内最も價值のある物はどんぐりの木であります。これを取つて何にするかと言へば、人間も食へますけれども、主として動物にやります。先づ豚、牛、馬、兎、山羊、羊類、かういふ動物は皆果實を常食にしてくれます。そこで私は今遊んでゐる山岳地帯を出来るだけ早く栗の苗木或は櫟の苗木で以て植付けて頂きたい。栗はもう三年目からなります。栗を炭にして賣るならば必ず損をします。けれども栗の實を豚にやることにすれば一反歩から平均三十五圓はどんな不景氣な年でも儲かります。燃料には勿論困りませんし、非常に都合がいい。今年の如く氣候の穏順な年は櫟の實が澤山出來ます。又椎も實ります。櫟は二十五年経つた物であれば一本の木で八斗位の實を落します。一反歩について約四十本は植はります、これが二十五年すれば一反歩から約三十石位の實が取れます。平地であればそれは出來ないので。空間を立体的に利用しますから出来るのです。かういふ農業を立体農業と申します。つまり山は自ら立体農業に向うやうになつてゐるのでありますから、それをつとめて植ゑて頂きたい。その實を人間

が食はなくても一人間にも食へますよ、かういふ物を食ふ方法はいくらでもあります、どんぐりに木灰を入れます、約一割の木灰を入れます、どんぐりでも樗の實でも柝の實でも、約一割の木灰を混ぜまして、十日位水に浸けてほつときますと澁が抜けます。それを干しまして臼で碾くのです。それで團子を拵へたり、羊羹も出来たります、餅も出来たります、酒も出来たります。昔はこの酒をウケと申しました。これが澤山出来たのを豊受と申しました。豊受大明神といふのもこれから来たのです。ウケといふのは、どんぐりの實を人間の齒でかんで壺の中に入れて醗酵させた物です。それを神様に供へたものです。それをお米を作るやうになつてから全く忘れてしまつたのです。その爲山林といふものを全然利用出来なくなつたので、千町歩の山があつても全然利用せずほつたらかすやうになつてしまつたのです。全國到る所廻つてそれに氣が付きまします。で出来るだけ早くいふ種を撰定して栗の木を植ゑて頂きたい。栗はいくらでも出来たります。何處でも、どんな安山岩でも出来たります。三年間辛抱すれば實がなります。これに接木をして頂けば更に結構です。害虫については今申しません。なほ先に申しました物の中で一番金儲けになるのはくるみです。しかしくるみは水の少い所では出来にくいのです。そこで谷になつたところ、山の上の方には栗を植ゑて、澤に近い所にはくるみを植ゑて貰ひます。これは火山灰でもどんぐりも出来たります。このくるみで儲けた所は信州小縣郡和村です。この村は大正三年からくるみを植ゑ出して、この村は生糸を生命としてゐましたが、生糸がだ

めになつたものですから非常に貧乏しまして借金が一月當り千圓以上出来ました。困つてどうすれば借金が無くなるかと思つてゐると、くるみがよいといふことがわかつたので、一月について毎年二本づゝ植ゑました。くるみは一本について年百圓儲かるんです。現に儲けて居ります。一本ですすよ。十六年間かゝれば全部借金を拂つてしまつて、残るといふのです。ところがもう十六年しない内に早や借金が全部拂へさうだ。くるみの實は蛋白質が二十八パーセントある。牛肉はタツタ二十パーセントであります。だからくるみの木を植ゑることはまるで牛肉の木を植ゑるやうなものである。それでくるみの木を植ゑない人は貧乏することはきまつてゐる。かういふ話を聞いてなほくるみを植ゑない人は貧乏志願兵であります。私はくるみの苗を毎年二千本位御殿場に植ゑて居ります。この話を聞いて岐阜縣八郡の産業組合は郡全体に年々一萬本位植ゑて居ります。本年は五年目であります。非常に成績がいゝ。くるみはフランス、イタリー、ドイツ、イギリス等にいくらでも賣れます。貿易品で非常に高價な物です。一番良いのはこれ位(約一升)一圓五十錢位します。牛肉以上の榮養があるのですから、牛肉の食へない腎臓病の人等の藥になるのです。アメリカではくるみの木だけには一々國勢調査があります。くるみの木には番號がついて居ります。それはいざといふ時、くるみの木は飛行機のプロペラ、機關銃の銃床になるのです。でありますから谷間とか或は雨の多く降るところではくるみを出来るだけ植ゑてほしいのであります。只くるみは栽培が一

番むつかしいのですから、植える時は御注意願ひたい。くるみの實は桃の種子のやうになつて居りますが、それを横に植えるのです。さうすると根が生えて來ます。これを直根と申します。この直根を一旦切らないとどうしても實りません。それから非常に價値のある木ですから害虫がつきやすいのです。それで苗木を移植する時直根を切つて、根を紙に包んで根から害虫が入らぬやうにせんとだめになります。かういふことを御注意願ひたい。御當村のやうな谷が少しある所は、くるみを植ゑて、これを保護して、愛育して頂きたい。さうすれば十四五年も経てば必ずこの村は日本に於ける最も富める村の一つになります。くるみは六年目から實が實りますから六年間辛抱すれば、金持になれるのです。ところが六年辛抱することがなか／＼出來ないので。だが、さう言つてほつとけば、いつまで経つても植はりません。私はもう十年前から植ゑて居りますが、非常に成績がいゝものですから誰に會つてもくるみを勧めて居ります。なほかういふ木を植ゑる場合は必ず蜜蜂を飼つてほしいのです。

蜜蜂を飼へ

御殿場に蜜蜂の名人が居るのです。この専門家は伊豆半島を極樂のやうに言うて居ります。それは蜜柑畑が多いからです。蜜柑の花の蜜は一番蜜としての價値があるのです。蜜柑の蜜は一つの壘

に五合位入つて一圓位に賣れるのです。それが一箱で三日か四日に取れるのです。蜂一箱十五圓位であります。一箱で四十圓五十圓と儲かることがあるのです。それを知つてゐるのか知らないのか蜜柑を作つてゐる人々が蜂を飼はぬことが私をかしいのです。つまり慾がないのでせう。ある人は蜜蜂は害虫を持つて來るといふことを言はれますけれども、それは稀なことでありまして、利益の方が害より數等倍多いのです。とにかくその年蜜柑が全部取れぬでもよい、一箱から四十圓儲かつたらその方が得なのです。百箱持つて居れば一年間に千五百圓位何でもありません。北海道のある小學校の先生は五十箱持つて居りまして、不景氣の時でも一年に七百五十圓位儲けるのを普通にしてゐうつしやいます。私の知つてゐる前田といふ肺病患者は少し肺を痛めたものですから、最初五箱の蜂を買つて、それを五十箱に殖やし、しまひには五百箱にして北海道から九州まで動いて五年間に身体が治つて一萬圓位儲けました。私は今日少し儲ける話をし過ぎますので、皆さんは信用してくれないかも知れませんが、事實は本當ですから、嘘はつきません。儲けたくなければ私の話を信用しないで構ひません。蜜を取る元氣を出せば蜜柑が全部だめになつても儲かるのです。その蜜の流れる時を流蜜期と申します。實際蜜がどん／＼どん／＼まるで水のやうに流れるのです。御承知でせうが静岡縣の梨畑は蜂を入れると入れぬとで以て結實が違ふのです。そこで梨畑にわざ／＼御殿場の蜂を持つてゐる人に一週間約一圓五十錢の料金を拂つて入れて貰ふのです。とこ

ろが伊豆方面では逆でありまして、蜜が蜜柑から多く出るんですから一箱に對して四圓五十錢拂はぬといふと箱を入れさせてくれないのです。これは伊豆方面では習慣です。その位の價值があるのです。それで蜜柑をお作りになる方々は、蜂の箱を持たないやうな人は蜜柑を作るべからずといふ憲法を作つてほしいのです。しかし蜂といふものはよく研究しない人が飼ふと儲からない。蜜の取り方の上手下手によつて儲けが違ふのです。蜜柑の花が咲く時になつたならば、その時四、五日で蜜を取つてしまはうと思へば、蜂の數を揃へるのです。五萬位揃へるのです。そして一度に取つてしまふ。さういふ研究をすれば蜜の採取だけで以て百圓や百五十圓収入が違ひます。たとへ蜜が賣れなくても蜂を二、三箱持つて居れば年中砂糖も買はず済みます。又蜂蜜程の蜜はありません。少し喉頭結核のある人でも、少し蜜を甜めれば咽喉を消毒します。一寸胃腹が悪い時少し蜜を飲みば治ります。榮養から言つてもヴィタミンA Bが澤山あります。これ位萬能薬はありません。それを取らずに流してしまつて、そして村は景氣が悪いといふのは、それは流す方が悪いのです。我國で一番いゝ蜂蜜は蜜柑の蜜です。その次はアカシヤです。茶種類は一番下等です。それでも私等は結構食べて居りますが蜜柑が一番上等の蜜が取れるのですから、村の産業組合がかういふ方面に出資して、最初は一箱位づゝ買つてそれをだん／＼三箱位にして賣つて、蜜は組合で賣つて賣ふといふやうにして頂いたら結構だと思ひます。

兎の穴飼ひ

又山岳地帯に於ては兎を飼つてほしいのです。兎も最近流行の箱飼をすると思ひます。近頃東京あたりにはアパートが流行してゐますが、人間がアパートに住むやうに、農村では兎をアパートで飼つてゐる。これでは兎がヒステリーになつて、子供を生んでも食つてしまひます。それで御當地のやうな山のある所では、山の斜面に道をつけてこれに穴を開けるのです。穴の一方には金網を張つておきます。横穴が開けにくい所ならば縦穴でも結構です。これに兎を放つ。これが兎の穴飼といふものです。これを偶然發明した人は静岡縣の濱松在の三方ヶ原の貧乏人の百姓です。友達が「兎が流行るんだ飼はぬか」と勧めたが、「俺アよう飼はんから要らねえ」と言つた。「さう言はずとマア飼つてみい」といふものだから、あんまり言ふのを斷るのも悪つて、マア牝と牡を貰つた。そこで里芋を掘つた跡に穴が開いてゐたので、そこへ入れてほつておいたのです。すると兎といふものは自分で穴を掘ります。そして兎は必ず一夫一婦です。獨身者ばかりアパートに入れておいては子供を生みませんが、かうして生むやうにすれば子供をどん／＼生みます。毎月生みます。その百姓何にも知らなかつたが、殺すのも可哀さうだと思つて、その穴の中へほうりこんで、芋の蔓を投げこんでやつておいた。六ヶ月経つてから見ると、兎がウジョ／＼涌いてゐる。そこへ兎買が來

まして、全部二十五疋と見て二十五疋の値で買はうといふのです。元々二疋だったのだから「二十五疋結構ちや」といふ譯で、約束して穴の中へ入つて兎を捕へてみたら、何と四十六疋居つた。それで二疋の兎も穴の中へ入れて半年置けば四十六疋になることがわかつた。それからといふもの濱松在の方面では穴飼が皆上手になつて、山の無いものはわざ／＼土盛りをして飼ふ、やはり半年位すると二十疋三十疋にふえる。この兎が病氣になつた時の一番いゝ薬は先に言つた樗の實です。兎が下痢したら樗の葉を食はせると止ります。ですから山の斜面にどんぐりのやうな穀斗科の木を植ゑておけば自然に斜面でも金が出来るやうになるのです。兎は肉も賣れます、毛皮も賣れます、毛も賣れます、皮も製皮します、皮を取るのは何でもありません。これは三つの方法があります。皮のなめし方には鹽と、クロームと、タンニン(澱)の三つの方法があります。兎が死んでも捨てないで、腹を立割つて、皮をめくつて、すぐそれを鹽で漬ける。クロームならばたつた一時間半漬ければいゝのです。それから取出して四隅を張つて陰干しにすれば立派な毛皮が出来て外套の裏にしても或は首巻にしてもいゝのです。その副業を冬するのです。近頃はフランスから日本の兎を買ひに來て、それを向ふの會社で縫合せて色染めにして立派な毛皮になり、それが銀座に逆輸入されて五百圓で賣れてゐる。これが農家の副業に出来るやうになれば結構です。それが出来なければ鹽でなめすか、或は先に言つたどんぐりの澱、栗の澱、何でも澱を取つて壺の中に入れて取つて置きます

て、その中に兎の皮を入れて置くのです。それを一週間位してから取出して、毛は取れてしまひますけれども、毛は別にしてしまつておいて、今度はそれを加工すれば立派な物が出来ます。私が今履いて居ります靴、あれは手縫ひでタツタ一時間半で出来た物です。去年私がアメリカへ講演に行きました時、村の青年が一時間半で私の足に合せて縫つてくれたのです。かういふ皮を自分で作つて置いてそれで作つてくれたのです。さういふ風に少し工夫すれば山の中からでも何十萬圓といふものが儲かるのです。しかしほつておいては出来るものでありません。自分の頭を使はぬと出来ません。まことに言ひにくいことですが、年寄に言ふてもしてくれません、若い人が是非奮發して、私の申すことの一つでもやつて貰ひたいのであります。

養豚の問題

その次は豚の話をしませう。普通豚の食物は殘飯とか或はトウモロコシ、等をやりますけれどもさうでなく、先に申しました通り山の斜面を利用して木を植ゑるならば九月頃から小學校の子供が學校を終へた後山へ行つて木の實を集めてほしいのです。私は現在東京府豊多摩郡千歳村でどんぐりを一升二錢で買つて居ります。この地方でも九月から十一月まで子供にどんぐりを拾はせて豚を飼ふて欲しいのです。豚といふものは何が好きだと言つてどんぐり程好きなものはありません。豚

を残飯で飼ひますとハムやベーコンにしましてから残飯が匂ふのです。ブンとくさい。どんぐりで飼ひますとえらいものです、香水の匂ひがする。私は決して嘘は申しません。私は御殿場の脇にハムの工場を作つたことがあります。横濱方面で賣つて居ります鎌倉ハム、ドイツ人が作つて居ります鎌倉ハムと稱するものは残飯で飼つたものを終りの一ヶ月か二ヶ月どんぐりで飼ふのです。さうすると同じハムの値段が二倍違ふのです。残飯で飼つたものは安いのです。それで山に樫を植ゑてその下で豚を飼ふのです。私が勤めまして信州ではそれをやつて居る人もあります。すると一ヶ月二ヶ月は何にもやらすに丸々と肥り、子供を生みます。かういふ飼ひ方をすれば豚コレラにはなりません。豚コレラが起るのはどんぐりを食はせないからです。どんぐりの中にはタンニンといふ澁があります。この澁が害虫やバクテリアを駆除するのです。又豚の毛も金になります。齒ブラシの毛は豚の毛です。あれは百匁四圓します。それを知らぬが佛と申しませうか、豚の毛なんか、とボン／＼捨てゝしまふ。あれを副業に捕へるのです。悪い毛でも三圓位します。豚コレラで豚が死にますと、川や海にボン／＼捨てゝしまひますが、勿体ない話で、若し豚が死んだら毛を取り、皮は先に申しましたやうに鹽で漬けてなめします。豚の皮ほど立派な皮はないのです。婦人用の手袋が出来ます。一つ十五圓もします。でありますから加工の方面を研究すれば村が經濟的に行詰るといふことはないのです。

山羊の問題

又山羊です。支那人は愈々困つた場合は山羊とか羊とかに頼つたものです。それで支那では、羊が草を口にした場合を「善」といふのです。羊を大きくしたものを「美」といふのです。羊を衣にした場合を「祥」といふのです。自分が羊のやうになつた場合を「義」といふのです。何でも羊に關係したことは支那に於てはいゝことだとしてあります。山羊がさうです。ギリシヤの國では幸福の神様は顔が山羊で身体が人間です。若しも又不景氣が来て、ルンペンが二百萬三百萬と出来た場合、この前は二百五十萬人あつたといひますが、又不景氣になつた場合、何を食ふか、まさか笹を食ふ譯にいかぬけれども日本全國到る所に笹がな所いはいりせまん。人間は笹は食へないが、これを山羊に食はして山羊の乳を搾つて人間が飲めば人間が笹を食つたと同じことです。昔から西洋でも必ず農村の窮乏を救ふ爲には山羊を飼うて居ります。ドイツでも乳山羊が約百四十萬頭居ります。スイツツルは十七萬頭、デンマークは七十四ヶ所に山羊の種畜場があります。かういふ山の多い所では山羊を飼はぬといけません。山で山羊を飼へば乳はどん／＼出ます。牛は小牛でも一頭百圓、安くても六十圓します。小山羊は一頭三圓です。先頃少し上つたけれどもそれでも四圓か五圓で買へます。十ヶ月目にもう乳を出しますけれども、少し無理です。一年半辛抱すれば一升五合位

充分出ます。全部飲みきれません。牛の乳は肺結核の微菌が居りますから煮なければ飲めませんが山羊の乳は肺病の菌は絶対にありません。只汚く飼ひますと山羊の小便が入ります。山羊の乳がくさいといふのは小便が入つたのです。山羊の毛には小便がついてゐる、それを綺麗にしないで搾るからくさいのです。それで山羊の小屋を作る時、寢床を板の糞の子にして、小便が下へ落ちるやうにしておくのです。さうすると小便が毛につきません。山羊の乳は分子が非常に細いですから子供に持つて来いのです。牛乳を吐いて受けつけない赤ん坊の腸にでも山羊の乳なら分子が細いから入ります。山羊は雑草を九十パーセント食ひます。何でも食ひます。それが全部乳に歸へります。羊は六十パーセントしか雑草を食ひません。又牛は四十パーセントですから、山の地方の貧乏な村では何うしても山羊を飼はなければ福は来ません。昔から貧乏助けは山羊に限ると言つてゐるのです。乳が餘つた場合は煉炭で煮詰めるのです。煮詰めると山羊の乳の中の糖分がキヤラメルに變つて、キヤラメルチーズが出来ます。羊羹のやうにうまいチーズが出来ます。これを西洋では鮑で削つてパンにつけて食ひます。何年経つても腐りません。東京では山羊の乳は一合十三錢です。牛の乳は六錢です。村で榮養が足りないといふ場合は山羊さへ飼へば榮養は満点です。山が千町歩もあつて山羊が一疋も居らず、榮養が悪いといふのは、それは當り前です。山羊のチーズは八十パーセントが蛋白ですから、澤山食つたら榮養が過ぎます。鮑で削つて一寸食べれば藥以上です。山羊の毛は

少し荒いけれども、首筋の長い毛は利用出来ます。糸車で引いて、長いのを織ります。雨カッパ、即ちコート服を作ります。木綿の雨カッパはすぐ駄目になりますが、山羊の毛で作つた雨カッパは五年十年雨に洒しても大丈夫です。これを農閑期に織るのです。緞通も出来ます。羊のことは宣傳によつて知つて居られると思ひますから止めます。羊については私は濠洲へ行つて調べて來ました。これはかういふ村ではあまりお勧め出来ません。なほ流れがあれば水を利用して鯉や鮒を飼つてほしいです。一方から水を入れて一方から水が出るやうにします。冬は水面に繩を張り渡しましてその上に蘆苞を立てゝおきます。さうすると空氣が通りますから水が凍りません。水が凍ると魚は窒息して死にます。日本で鯉飼の名人は田中友一といふ人で、この人の書いた「養鯉法」といふ本があります。この人はタツタ十二坪の池で年二千圓儲けるのです。ですから村が狭くても谷の水を少し利用して池を作れば出来るのです。池を掘る時は少し深く掘つてほしい。さうしないとシヤコといふ鳥が夜來て鯉を取つて行つてしまひます。池が深いと鳥が來ても魚は利巧ですからバツと沈んでしまひます。又鱸を飼つてもよろしい。鶏を飼つてもよろしい。家鴨や鴨もいゝでせう。かういふ風に利用法を少し考へれば山の奥の方でも決して困りません。どんな所にでも金儲けの方法があるのです。子供には兎を飼はせる、息子娘には鯉とか山羊とかの世話をさせます。乳を搾るのは娘に持つて来いのです。蜂は少し頭が要ります。これは青年がやる。豚は老人がやる。壯年の人は

全部の管理をやる。かうすれば一家中遊んでゐる者は一人もありません。皆働いてゐますから小遣錢には困りません。これを立体農業と申します。多角農と少し違ふのです。

協同組合的農村經濟の組織

だがこれだけでは足らぬのです。どうしても村では助け合ひをしなければなりません。即ち産業組合といふものを作らぬといけません。産業組合とも又協同組合とも言ひます。この産業組合にはやり方に二つあります。一つはイギリスの労働者が今から約九十三年前に始めたロツチデール式と申します。これは利益の拂戻しをするのです。一金持といふ人は取つたら取つたきりです。株式會社でも取つたら取つたきりです。産業組合や信用組合でも利用組合でも、儲けがあつたら全部拂戻をする。これが産業組合があらゆる人に好都合な理由であります。第二は産業組合は一人一票主義です。株式會社では一人で千株持つてゐれば千票の権利を一人で持ちますが、産業組合は一人一票です。権利は皆同じです。これを産業民主主義と申します。その次は全体主義です。村の人であつたならば誰でも組合員になれる。五本の指は長いのもあれば短いのもある。この指を村長、これを助役、これを書記、これを小使としますと、村長一人がいくら威張つても、一人では白墨一本持てません。コツブ一つ持てません。助役と二人になると、二本の指で持つには持つが、自由に働け

ない。水も飲めない。書記も小使も皆入れて、五本全体となつた時初めて完全に自由に手の働きをする。今の村が繁榮しないのは、各人が、俺が、俺がで、めい／＼バラ／＼になつてゐるからです。ソツボもチビも智者も愚者も、金持も貧乏人も皆全体一つになつて働く、お互に助け合ふ。一人々々では益々貧乏するが、近所隣同志十軒二十軒、五百軒千軒一つになると立派に獨立出来て繁昌する。これをロツチデール式といふのです。今一つはドイツのライフアイセン式といふのです。これは儲けた金を個人々々に拂戻す代りに村で一番困つてゐる人、分けるのです。村の最貧者に貸出すのです。土地を買ふ家を買ふ、山羊を飼ふ苗を買ふといふ時貸出すのです。さうすれば村で誰も貧乏する人がない。かういふ方法を眞の協同組合と申します。もう一つ貧乏な人が無くなつた場合その金を利用して村の社會事業に廻はす。これがライフアイセン式であります。その内で一番大事なことは農村に於ける國民健康保險の問題です。今度日本では國民健康保險組合といふものが出来るのです。全國一萬二千の町村の中人口五千以下の村九千六百を調べますと、そのうち三千四百の村に醫者が居ない。それから考へて我々は醫療組合を作つたのであります。産業組合の組合員が十圓づゝ金を出し合つて病院を建てる。皆さんが開業醫の病院から買つてお飲みになる薬が二十錢とするならばその内少くも一割の二錢といふものは、その病院を建てた費用の利息なのです。薬と一しよに利息を飲んでゐるのです。實際はタツタ一割位ちやありません。それ程費用がかゝつてゐ

るのです。資金の利息が高いから薬が高い、手術料が高い。一寸した盲腸炎の手術でも百圓以下といふのはありません。それを産業組合でやればタツタ三十五圓で済みます。六十五圓も違ひます。それは利息を拂つてゐるからです。産業組合で組合員が出し合つてやればその利息を拂はないで實費で済むのです。その上に今度は國民健康保険組合といふものを作る。これはどうするかといふと村で比較的貧しい人は月々三十錢づゝ拂ふ。次は五十錢七十錢一圓二圓と所得に従つて拂ひ、かうして組合を作つて、貧しい人は少く出して手當は同じです。この國民健康保険組合といふのが私等は内閣から頼まれて調査委員をしてゐまして、私等が案を作りましたが、これには五つの特徴があります。先づ第一は自由組合、自由に入れる。第二は半強制で村の人の三分の二が入つた場合は他の三分の一は強制的に加入を命ぜられるのです。若し金持の人で、俺は毎月五圓拂つて三十錢の者と同じ楽しか飲めないから入らぬといふ人があつても、貧乏人が入つてしまつて三分の二になつたら、命令的に入らぬことは出来ぬといふ建前です。第三は組合へ納める代金は物納を許す、現金がない場合は、米でも麥でも豆でも蜜柑でもいいのです。第四は拂戻です。達者な人で何年も薬を飲むことがない。金ばかり拂つて損だといふ場合、拂戻しをします。但し少しです。或は又組合で温泉場を作つて組合員が湯治が出来るやうにするとか、或は組合の金で温泉旅行に廻るとか、さういふことが出来るのです。第五はこの組合は村全体の代表者である村長さんが理事長になる。か

う言つた方法をとれば村で肺病患者が出ようと、長年患つてゐる人があらうと全部解決がつくのです。これをやれば三千四百の醫者のゐない村にも醫者が入ります。私は皆さんがこの國民健康保険組合を作る運動を今日から直ちにやつて頂きたいのであります。なほまだいゝことがあります。かういふ村であるとか、町であるとか、たいい火災保険をつけてくれますけれども、山の方の家ではつけてくれません。その保険を組合でやるのです。或は生命保険を組合でやるのです。今日日本に信用組合が一萬近くあります、その預金が十八億圓位ある、大きなものです。だがこれよりも大きいのは生命保険です。生命保険は全國でタツタ三十一社が百三十億圓の契約を持つてゐる。三井が大きい三菱が大きいと言つても、生命保険には比較になりません。それをタツタ三十一社で持つてゐる。その三十一社は全部今度新しく出来る社會省に合併されます。そして保険院が出来るので、將來日本の國の保険といふものは國營にせんといかぬ、さういふ金を以て病院を作る、住宅を改良する。街の汚い所を作り直す、さう言つたやうな保健衛生の根本問題にまで觸れないと駄目です。さういふ理論は本日は申しませんが、村に一人の貧乏人、國家に一人の貧乏人もないやうにしようと思へば、どうしても産業組合を作つて一列平等全部が助け合つて、全部が一つになつてやるといふ團結の力を以つてしなければ、農村も漁村も更生出来ません。私は今日は時間が無いために漁村の話をしませんでした、漁村の方は私は小説に書きました。「海豹の如く」といふのがそれで

あります、そして産業組合をいかに漁村に應用すればいふかといふことを書きました。その点については私のつまらん小説ですけれどもそれを讀んで頂きます。

以上の話は極く大体に亘つて山村の産業を組合でやることについてお話ししましたが、もう一つ大切なことは村の精神更生、即ち村が酒を飲み、花柳病が流行すると、どうしても疲弊する一方です。金が入ると酒を飲む、ぢや駄目です。でありますから村の精神更生がなければ村は復興しません。殊に村の青年が禁酒廢娼運動に熱心になつて、天地の神の前に自分の良心を出しても決して恥しくないといふ精神的運動精神的研究—聖人の書物を讀み聖人の足跡を履むといふ氣持にならんければ決して村は復興しません。今より百數年前にこの相模國は二宮尊徳先生といふ偉人が出たと同じやうに、今日でも出る筈です。願くばかやうに精神的協力をすることに努めて頂きたい。

以上私はいろ／＼申しましたが、これをつづめて申しますと三つになります。即ち土を愛すること、隣を愛すること、もう一つは天地宇宙の神に恥しくない人間を作るといふこと。この愛土、愛隣、愛神この三つの愛を私共三愛主義と申して居ります。これが即ち農村更生の産業組合による根本原理であります。

昭和十二年九月七日印刷
昭和十二年九月十日發行

〔非賣品〕

發行所

神奈川縣廳農務課内
神奈川縣農村産業組合協會

編輯兼
發行人

神奈川縣足柄下郡吉濱村吉濱一〇〇五番地
淺田岩次郎

印刷人

神奈川縣藤澤町七六三番地
川上久次

印刷所

神奈川縣藤澤町七六三番地
三光堂印刷所
電話藤澤一〇六番

378
80

... 106 ...

終

